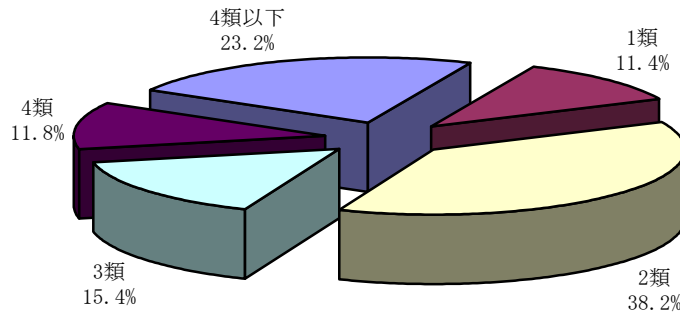


海洋環境

状況

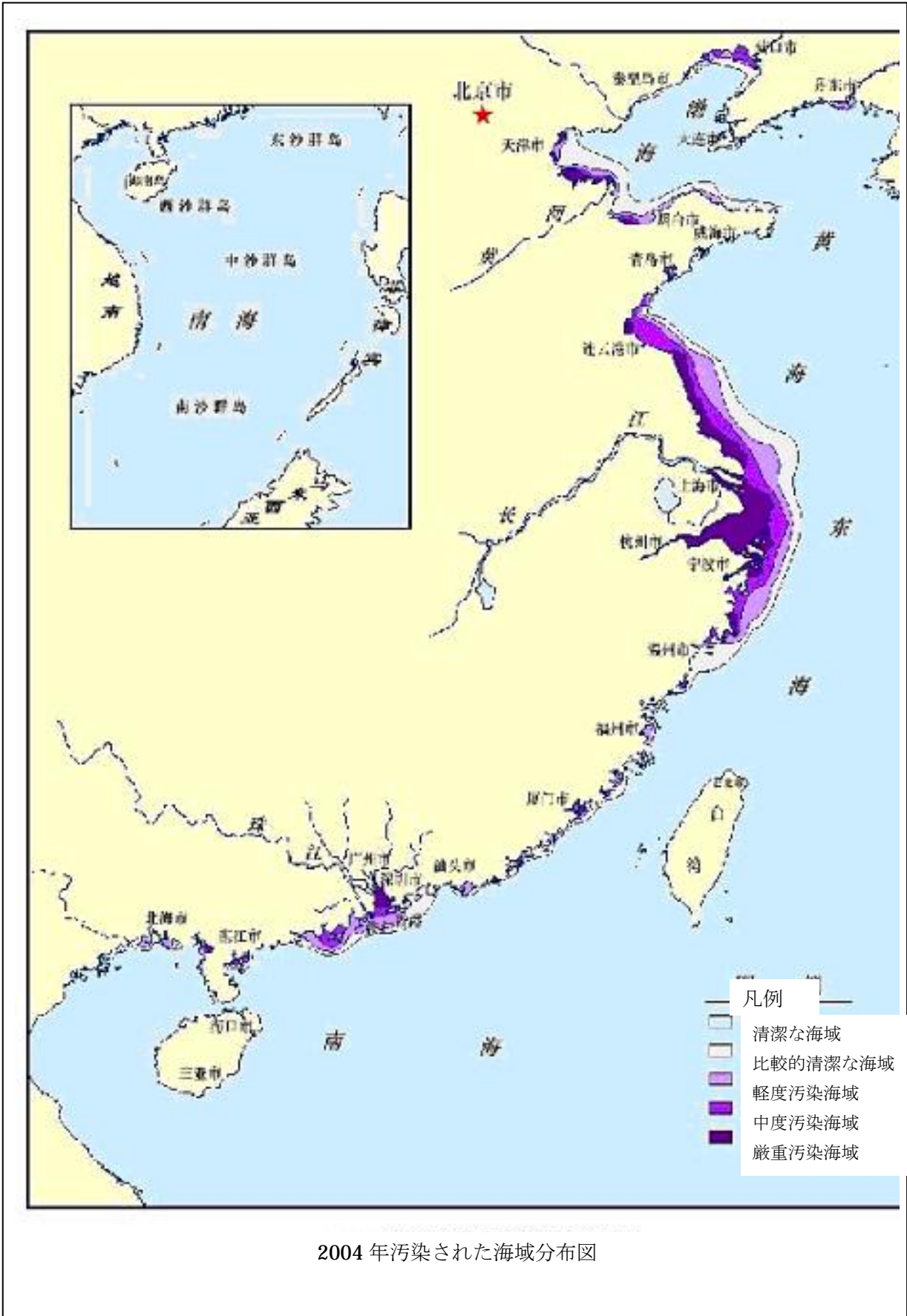
2004年、近海海域大部分の水質は良好であったが、局部海域の汚染はひどくなった。遠海海域の水質は良好な状況を保っている。

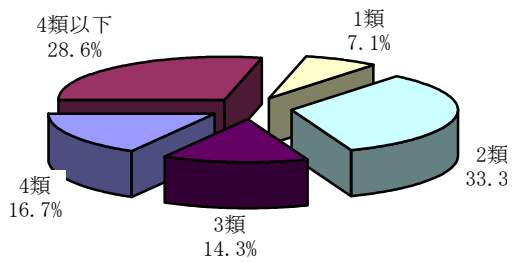
2004年、全国沿岸海域246カ所のモニタリング地点のうち、1、2類海水の比率は49.6%で、ほぼ前年並みの水準であった。3類海水の比率は15.4%で、前年に比べ4.4ポイント減少している。4類、4類以下の海水の比率は35.0%で、前年に比べ5ポイント上昇している。



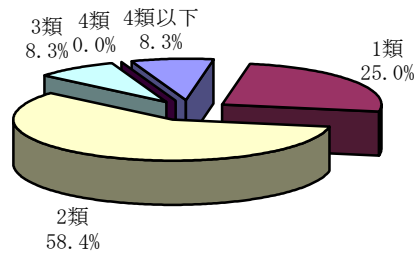
2004年全国沿岸海域の水質類型

2004年の4大海域の水質を比べると、黄海と南シナ海で総じて比較的良好だった。1、2類海水の比率は比較的高く、それぞれ83.4%、77.8%に達した。前年との比較では、黄海の1、2類海水比率は14.7ポイント上昇、南シナ海では19.8ポイント上昇した。渤海の1、2類海水比率は40.4%で、前年に比べ9.6ポイント減少した。4類と4類以下の海水は45.3%を占め、12.0ポイント上昇した。主要汚染因子は無機窒素、活性リン酸塩、石油類であった。東シナ海には1類海水がなく2類海水は17.2%で、前年比13.2ポイントの減少であった。4類と4類以下の海水は61.3%で、6.9ポイント上昇した。渤海と東シナ海の汚染が悪化する趨勢にある。

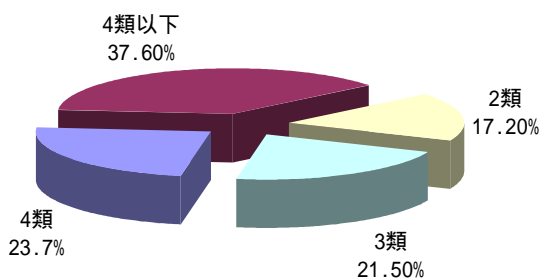




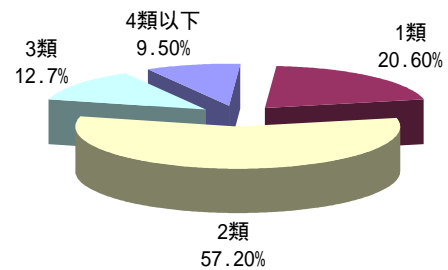
渤海海域水質状況



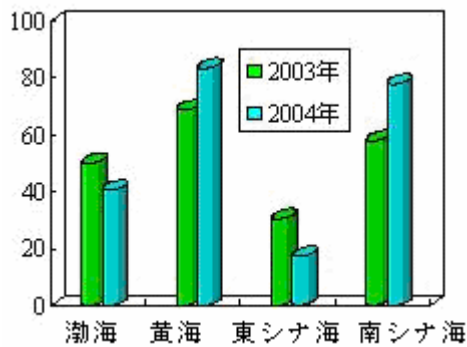
黄海海域水質状況



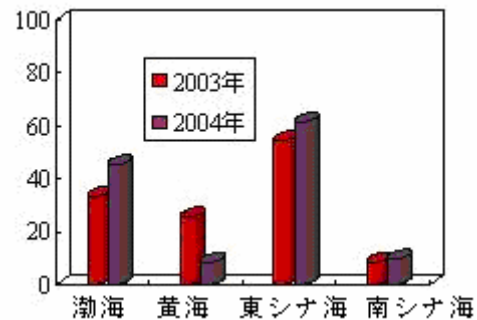
東シナ海海域水質状況



南シナ海海域水質状況

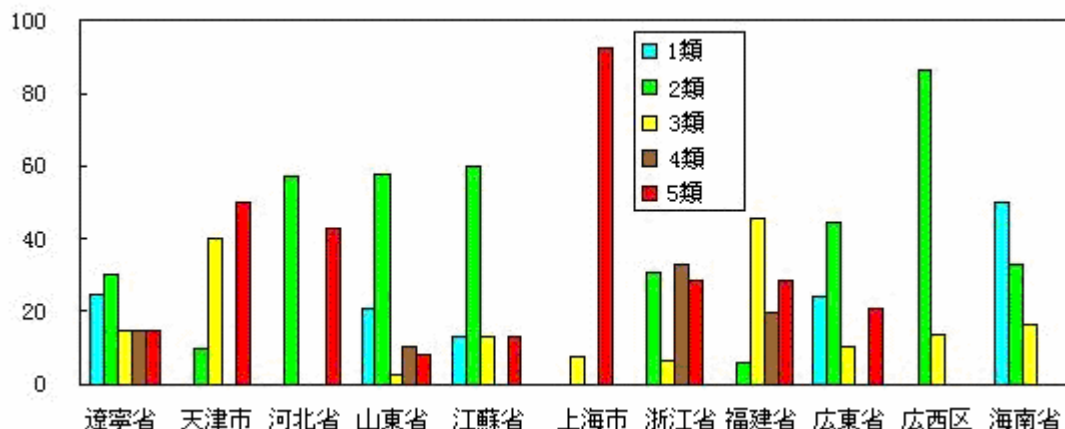


4大海域 1、2類海水比率



4大海域 4類以下の海水比率

2004年、広西、海南、山東、江蘇、広東の海水水質は比較的良好で、1、2類海水の比率はそれぞれ68%以上に達した。中でも海南は1類海水の比率が最大で、50%に達している。次いで広東が24.1%、以下山東の21.1%、江蘇13.3%と続き、広西には1類海水がなく、2類海水の比率が86.4%であった。上海、浙江の沿岸海域の水質は劣っており、上海には1、2類海水がなく、4類以下の海水が92.3%を占めた。浙江、天津、福建、河北には1類海水がなく2類海水の比率はそれぞれ31.1%、10.0%、5.7%、57.1%であった。4類及び4類以下の海水の比率はそれぞれ62.2%、50%、48.6%、42.9%であった。



沿海部の省、自治区、直轄市における沿岸海域の海水水質類型

赤潮

2004年、全海域で96回の赤潮が発生し、前年より23回減少した。赤潮累計発生面積は2億6,630 km²で、前年より83.0%増加した。その内、大面積の赤潮は東シナ海に集中している。全海域で100 km²以上の赤潮は34回発生しており、このうち500 km²以上の赤潮は16回、500 km²前後¹の赤潮が10回と、いずれも前年より増加している。有毒赤潮生物が引き起こす赤潮が20回余りあり、面積は約7,000 km²であった。主な有毒赤潮生物はギムノディニウム、プリムネシウムである。

2003～2004年沿海省（自治区、直轄市）赤潮発生状況比較

地区	回数		発生面積 (km ²)		主要赤潮生物の種類	
	2003年	2004年	2003年	2004年	2003年	2004年
遼寧	5	6	220	520	夜光虫	夜光虫、プリムネシウム
河北	6	3	90	260	夜光虫	夜光虫
天津	1	4	100	3230	シャトレナ・マリーナ	ギムノディニウム
山東	5	10	460	3230	アカシオウズムシ	プリムネシウム (Phaeocystis Pouchetii)、アカシオウズムシ

¹ 原文では500 km²近くまたは以上の赤潮となっているが、前後の文脈から、訳文では500 km²前後とした—
—訳注

江蘇	0	2	0	100	-	渦鞭毛藻 (Gonyaulax polygramma Stein)、夜光虫
上海	8	4	2280	1100	スケルトネマ	プロロケントルム、スケルトネマ
浙江	49	38	8970	16460	プロロケントルム	プロロケントルム
福建	29	12	1740	320	夜光虫、プロロケントルム	夜光虫、プロロケントルム
広東	14	17	650	1380	スケルトネマ	中肋海鏈藻 ² 、プリムネシウム
広西	1	1	10	30	Trichodesmium erythraeum Ehrenberg	Trichodesmium erythraeum Ehrenberg
海南	1	0	30	0	プリムネシウム (Phaeocystis Pouchetii)	-

2004年の赤潮発生の主な特徴は以下のとおり。渤海—赤潮多発時期が6月に集中発生回数は前年並み。黄海—最初の赤潮発生は3月下旬、多発時期は8~9月、発生回数と面積はそれぞれ前年比約1.5倍、1.0倍、但し多くは小範囲での発生で、赤潮生物の種類は多く、渦鞭毛藻 (Dinoflagellate) が主。東シナ海—赤潮発生回数が前年に比べ約37%減少、但し累計発生面積は前年より約45%増加し過去最高。発生回数と累計発生面積はそれぞれ全海域の56%、68%を占める。多発時期は5~6月に集中。うち5月下旬浙江沿岸海域で25回発生、累計面積は1万3,000 km²近く。5月上旬に浙江中南部海域で出現した特大赤潮は面積約8,000 km²、このときに含まれていた優勢種の中にアレキサンドリム (Alexandrium) が含まれていた。これは典型的な麻痺性貝毒素を含む赤潮生物である。南シナ海—赤潮発生回数はほぼ前年並み、但し累計面積は昨年のに増加。うち11月中旬に汕頭広澳島付近で爆発的に発生したプリムネシウム赤潮の面積は600 km²を超えていた。

措置と行動

【渤海碧海行動計画実施状況】

² Family Thalassiosiraceae の1種。日本語名称不明——訳注

2004 年末までで渤海を取り巻く 4 つの省・直轄市ですでに「渤海計画」が完成している。各種プロジェクトが 125 件（自然保護区事業は含まず）、建設中のプロジェクトが 87 件あり、それぞれ総数に占める割合は 47.2%、32.8%であった。すでに 163 億 9,000 万元の投資をしており予算額の 59.3%を占める。すでに完成したプロジェクトは、山東で 51 件、遼寧 22 件、天津 30 件、河北 22 件であった。建設中のプロジェクトは、山東で 41 件、遼寧で 18 件、天津で 17 件、河北で 11 件である。前年に比べ 4 省・直轄市で新たに完成したプロジェクトは 26 件あり、うち山東 11 件、遼寧 10 件、天津 4 件、河北 1 件だった。

【海水浴場の夏期における海水水質週報】

2004 年 6～9 月、国家環境保護総局は 16 沿岸都市 28 ヶ所の海水浴場水質モニタリングを続け、「海水浴場水質週報」を 18 回発表した。82.4%の海水浴場が水泳に適している。

【海洋保全区の建設】

2004 年、遼寧、山東、広東などの省で省級海洋自然保護区が 10 ヶ所新設された。2004 年末までに、全国で各種の海洋自然保護区が 90 ヶ所設けられ、そのうち、国家級の海洋自然保護区は 24 ヶ所ある。広西山口マングローブ国家級海洋自然保護区のマングローブ面積は設立時から 8 km²近く増加し、南麂列島国家級自然保護区は中核エリアが拡大した。